五分館だより

第49号
豊丘村公民館
第五分館
編集/社会部
印刷/燦プランニング
電話35-6267

堀越の今日
平成16年12月1日現在
戸数　86戸
人口　351人
（男166人・女185人）

多彩だった堀越まつり

去る十一月六日七日に第七回堀越まつりが開催されました。地元の発表者が少なく心配されましたが、区外の方達の協力で賑やかくなり実施する事が出来ました。

好評だった堀越まつり

東　三沢三保子

十一月六、七日の二日間堀越まつりが行なわれました。六日の夜は、いくつかのグループの発表があり、日頃の練習の成果を見せていただきました。グループの数も年々減ってきてしまい、少し淋しい気がしますが今年は堀越以外から、三グループの方々に参加していただき（三味線、歌、豊丘太鼓）堀越まつりも一段と盛り上がりました。それから今年は、和楽さんのお寿司の販売もあり、最初のは売り切れてしまって追加していただいたほど好評でしたようです。また、大広間では作品展が開かれていて、数々のすばらしい作品が展示されていました。そして廊下の壁には、何年か前の運動会などの写真が貼り出されていて、懐かしく見せて頂きました。自由に待ち帰っても良いとのことで、自分達や家族が写っている写真を何枚かいただいてきました。

この二日間、準備から後片付けまで役員の皆様、本当にご苦労様でした。

わかば会の皆さんの踊り

若い世代の参加も

上垣外　武田恵子

去る十一月六、七日に堀越まつりが行なわれ、私は各クラブの発表を見せていただきました。踊りの会、歌、大正琴など、農作業の忙しい中にも、気の合う人たちで趣味を持ち、練習に日々励んで来られたことと思い、すばらしいな、自分も何かやってみたいなと感じながらも何もできずにいる現状です。わが家の五年生の娘も、詩吟を習い始めて三年。放課後や休日の練習の成果を堀越でも披露できればと、前回より人数は減ってしまいましたが、六年生、二年生と共に四人で発表しました。少ない人数ながら一人一人声を出し切って上手にできたと思います。展示品もまた、思い思いの作品が並び、生け花や婦人会の方たちの手芸、個々の絵や写真、習字など見ていて溜息が出てしまう物ばかりで、頭が下がりました。今年は堀越の方だけでなく、村内の三味線や太鼓の会の方々も招いて花を添えてもらい盛大にできて良かったと思います。

今後も是非こう言う発表の場を設けていただければ区民の皆さんも励みになるのではないかと感じ、若い世代の人達の参加も大いに臨んでいます。

何年も続くように

東　日下部美佳

私は、堀越まつりに出るのは今年で二回目でした。今年も、前回でた詩吟ででました。二回目なのに、前回より、今回のほうがかなり緊張しました。ステージに上がる前から、緊張していて、ドキドキでした。ステージに上がる前から緊張していたのでステージに上がったら、ものすごくドキドキして、頭から湯気が出るんじゃないかと思ったほどでした。吟じている最中は、ステージに上がった直後ほどは、緊張していなかったけど、まだドキドキでした。何もまちがえなくて良かったです。ステージの幕が下りた時は、すごくほっとしました。他の人たちの発表も、すばらしかったです。中学になっても、またでたいなぁと思いました。地域で集まっておしゃべりしたり、発表しあったりするのは、とてもすばらしいことなんだなぁと二回出てみて、実感しました。何年経っても この堀越まつりが続くよう次の世代へ、次の世代とひきついでいけるといいなぁと思いました。そのために、私も努力していけたらなと思っています。これからも、この堀越まつりが、続くように願っています。

展示品の一部

まつたけ観光
予約調整に苦慮

観光委員長　堀本啓司

今年の堀越まつたけ観光につきましては、区民各位の多大な御支援御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

本年度観光運営基本方針として、地域活性化の為区民総参加の協力を得て行なう、まつたけ観光施行細則によって、運営を進める。この二大方針にそって従来とは違う形で運営致しました。

今年の取り組みとしてまつたけ観光運営委員会によって実施する事が決定されました。公募の結果七名の方の協力を頂き区委員十二名と合わせて十九名で組織されました。実際に運営してみて区委員の負担軽減、若い人の参加により次代への継続が出来る等の良い結果が出たと思います。

開催直前の九月二十六日に中日新聞の取材があり、十月一日の夕刊（愛知、岐阜、三重、静岡、金沢、で配布）大変な反響で電話予約が殺到し、折り悪く茸の集荷が少ない時期と重なり予約調整に大変苦労しました。幸いにして十月十日以後茸の集荷も順調となり特に今年の松茸は開きが少なくお客様には最高級品を食して頂き大変喜んでいただけたと思います。

期間中運営委員、従事者、地区からの割当出勤の皆様茸の出荷者、踊りのグループの皆様等それぞれの立場において御協力下さり営業出来ました事に感謝申し上げます。

賑わったまつたけ観光

事業予告／平成17年1月21日（金）村政懇談会　・2月11日（金）冬期スポーツ大会

豊丘まつり 功労者表彰

平成十六年度豊丘まつりで功労者表彰が行なわれ堀越から田島悦男氏、松村雄一氏が村より表彰を受けました。

御指導と御協力に感謝

田島悦男

去る十一月十三日十六年度豊丘祭りの初日に村の功労者表彰式が挙行され、奇しくも私が区長、副区長の在職が多年であったということに依りまして、感謝状を戴いた一人でございます。然し乍ら、この受彰相応した職責を果たすことが出来たものか自問するとき、区民の方々の多大な御指導と御協力、又深いご理解を戴いてこそ努め得たもので忸怩たなものを感じるところでございますが、折角の御推挙を戴いたことを鑑み有難くお受けした次第でございます。私こそが皆様に感謝とお礼を申し上げます。

今や繁栄に繁栄を重ねてきた我が国も現在はきわめて厳しい財政事情等を抱へて国から地方へ、そして地域へと皺寄せは現実のものとなりつつあります。地域の人達一人一人が知恵と力を出し合って、自分達の地域を護り更に住みよい地域造りに努めなければならないと思います

私もこれから住民の一人としてご迷惑をかけることなく出来る範囲の微力を尽くして参りたいと思います。

分館からの依頼によりましてご報告を兼ね御礼申し上げます。

団員の支えで任務をまっとう

松村雄一

今年三月三十日をもって消防団を退団いたしましたが、先日は、消防行政に貢献したということで功労者表彰をしていただき大変恐縮しています。この七年の間、村民の皆様、各年代の分団長をはじめ団員の皆さんの支えと協力で任務を果たす事が出来ました事に対し、感謝申し上げます。

思えば、副団長を受けたときから、不安と緊張の毎日でしたが、団活動に対し幹部団員達の真剣に取り組む態度と、熱意に改めて消防団のすごさを感じました。今まで先輩達がやってきたことを自分達もやらなければという使命感と、自分達の地域は自分達で守るという郷土愛護の精神が脈々と時代を超えて確実に引き継がれている事を実感しました。若者達がそうした使命と責任を持った時に、本気でやり遂げようとするその姿を見て、大きな不安がとり除かれたような気がしました。

消防団員の皆さんや、ご家族の方々には色々苦労もあるかと思いますが、消防団は、頼りになる人作りの場であることは確かです。地域の大きな力の基となるよう、現役団員とこれから団員となる人達に大いに期待しています。

おじいさん、おばあさんありがとう

堀本丈文

南小学校PTA堀越支部では、例年行っている寿生会との交流会を、「ただ遊ぶだけでなく一緒になって何か出来る事はないか」との意見が出され、役員で検討した結果、「一緒に作れておいしい五平餅をやってもらおう」という事になりました。年度始めより寿生会から「何をしたらいいか連絡して欲しい」といわれておりましたので早速、「大変な事ですがやって頂けるでしょうか」と役員の皆さんに依頼しましたら、「一丁、やってみるかな」の一声で快く受けて頂けました。当然親の手伝いも依頼され、こちらも「はい」の返事で大事業がスタートしました。

私たち親子は、ただ当日の体調管理だけの心配でしたが、寿生会の皆さんは、竹串作り、米・炭の手配、焼き場の手配等大変だったと思います。当日は、良い天気で見事に多世代の人が入り乱れて、作業が始まりました。炊けたご飯を潰す係、型に入れ餅にする係、竹串に挿す係、餅を焼く係と、それぞれの係に子供も入り「疲れた〜」と言いながらも楽しくやっていました。

出来上がった、五平餅はいろいろでしたが、子供達はおいしく、腹いっぱい頂き、更におみやげも持たせてもらい、大喜びでした。

疲れたでしようが、寿生会の皆さん、本当にありがとうございました。

消防ポンプ更新（第三軽便）

班長　林　達也

第一分団第三軽便（堀越地区）班長を本年勤めています、駒沢の林達也です。

日頃地域の皆様には、消防団活動に深いご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

本年、消防団活動を行うには欠く事のできない機関（消防車）と消防ポンプが更新されました。

共に新しい設備や機能が盛り込まれた、緊急時に威力を発揮できる物となっています。

まず機関ですが一番に目を引く点として、緊急車輌として重要な視認性を高める二灯式のパトライトが採用されています。後部座席は、乗車団員の安全を考え前方を向いて乗車できるタイプとなっています。また、左右にはホースの展張が容易に素早く行える背負い式の折りたたみホース背負子が装備されている等、今後他班の機関が更新されていく際には、基本の車輌となるそうです。

消防ポンプは六月の操法大会に合わせて機関より早く納入されていましたが、放水能力の高い最新式の物で、班員も刺激を受け大会では六位入賞という良い結果を収めることができました。

以上のような機種が整備され、有事の際には威力を発揮できる体制となっていますが、消防団の最も重要な活動は「防火・防災」と班員一同心得ています。

十分ご覧いただくのは訓練・火防宣伝等に留め、「防火・防災」意識高揚の為、地元の皆様にも大いに活用していただきたいと思います。

今後もますますのご声援をよろしくお願い致します。

黒谷箋

台風、地震と災害の多い年であった。台風の上陸した数は十個以上。それも各地に大きな被害を残して行った。河と化した街、家の中に流れ込んだ石や泥は運び出せたのだろうか。

中越地震の様子も毎日テレビで放映されている。避難されている方達は、いつおさまるかわからない地震や、自分の住んでいた所がどうなってしまうのかと先行不安でいっぱいの事だろう。何年か前に我家でも災害に遭い、避難していた事があった・わずかな期間だったが、その時のストレスは大変だった。それに比べ新潟の人達は一ヶ月以上になる。疲れも限界に達し、辛い毎日を過ごしていると思う。地震はいつ発生するかわからない。堀越だって完全に孤立状態になるのではないか。そうなったらどうしたらよいのか。まるでわからない・・・ただ大きな地震が来ません様にと祈るだけ。

三位一体の政治改革より、各地の被災地の復興をお願いしたい。

安心して暖かい布団でゆっくりと休める日が来る様に願っています。

米山喜美子